

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会の申し合わせ事項によって行う。なお、競技規則TR5.2および（国内）競技用シューズに関する主要規則を適用する。

2. 競技場の使用について

- (1) 競技場内における貴重品の管理は各自の責任において行う。
- (2) 本競技場および補助競技場、球技場の練習時間については、以下の通りとする。

	項 目	開門時刻	練習使用時間
大会前日 (5日)	本競技場	11:00	11:00~17:00
	補助競技場	11:00	11:00~17:00
	球技場	11:00	11:00~16:00
	体育館	11:00	11:00~15:00
大会1日目 (6日)	本競技場	7:00	7:30~9:00 12:00~14:00
	補助競技場	7:00	7:30~17:00 (12:00~14:00閉鎖)
	球技場	7:00	7:30~15:00
	体育館	7:00	7:30~17:00 (10:00~13:30使用中止)
大会2日目 (7日)	本競技場	7:00	7:30~9:00 12:00~14:00
	補助競技場	7:00	7:30~15:00 (12:00~14:00閉鎖)
	球技場	7:00	7:30~12:00
	体育館	7:00	7:30~14:00

上記の時間帯で、すべて係員の指示に従い、レーン割振などの細部については、「公開練習要項」を参照のこと。

- (3) 服装、競技用靴、アスリートビブスについては、競技規則TR5による。スパイクピンの長さは9mm（走高跳は12mm）以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。（ニードルピン使用可能）
- (4) 本競技場及び補助競技場、体育館アリーナ及び観客席都県エリアは、ADカードのない者は入場できない。
- (5) 本競技場及び練習会場での練習は備え付けの用具のみを使用し、器具の持ち込みはしない。（棒高跳のポール、バトン、ピストルを除く。球技場においては、メディシンボールの持ち込みは可能とする。）

3. 招集について

- (1) 招集所は本競技場100mスタート付近競技場外に設置する。
- (2) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理し、出場を認めない。
- (3) 招集完了時刻の20分前から待機できる場所を設ける。（四種競技・棒高跳を除く）
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集完了時刻10分前までに競技者の所属する各団体の監督又は都県代表監督がその旨を欠場届に記入し、TICに提出する。なお、用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
- (5) 招集時刻は競技時刻を基準として下記の通りとする。

種目	項目	招集完了時刻
トラック種目	全トラック競技	競技開始 20分前完了
フィールド種目	走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投	競技開始 40分前完了
	棒高跳	競技開始 90分前完了
四種競技	トラック種目	競技開始 20分前完了
	走高跳・砲丸投	競技開始 40分前完了

(6) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻(招集完了時刻の15分前)に招集所に集合し、完了時刻までに点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブス、競技用靴、衣類および競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場する。携帯電話や通信機器(通信機能のあるスマートウォッチを含む)、および音楽再生機器等は持ち込めない。(競技規則TR6.3.2)
 - ②代理人による招集は原則として認めない。ただし、個人種目とリレー種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が当該競技の招集開始時刻までに、所定の用紙に記入し、TICに提出する。用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
 - ③四種競技出場者は、(6)-①および(6)-②に従い、最初の種目では招集所において競技者係の点呼、2番目の種目からは招集所において混成競技係の点呼を受ける。
- (7) 個人種目とリレー種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判の主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

4. 競技場の入退場について

- (1) 招集所から本競技場への入場および退場は全て競技役員の指示に従う。
- (2) トラック競技の全種目について、スタート地点で脱いだ衣類などは指定されたものに入れる。なお、その衣類などはフィニッシュ地点に競技役員が運搬する。ただし、400m、800mを除く。また、リレー競技については、第2走者の衣類を第4ゲート、第4走者の衣類を第2ゲートに運搬する。
- (3) 競技者は、第2ゲートから退場する。ただし、リレー競技の第2走者と第3走者は第4ゲートから退場する。
- (4) 入賞者は、第2ゲート(フィニッシュ付近)のテント内で更衣した後、競技役員の誘導で表彰者控え所(本競技場内1階ロビー)に移動する。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス及び腰ナンバーは、主催者で用意した物を使用する。
- (2) アスリートビブスは配付されたままの大きさ(折り曲げたりしない)でユニフォームの胸部と背部に確実につける。ただし、跳躍種目(四種競技の走高跳を含む)の競技者は、胸部または背部につけるだけでもよい。
- (3) トラック種目に出場する技者(リレーは第4走者のみ)は、腰ナンバーをユニフォーム下衣の右やや後方につける。
- (4) 四種競技の最終種目では、順位を示す特別なアスリートビブスの着用は行わない。

6. 競技方法について

- (1) 競技運営上、競技日程およびピットを変更することがある。
- (2) スタートについて
 - ①不正スタートは1回で失格とする。四種競技は2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
 - ②スタートの不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格(レッドカード)とし、競技会からは除外しない。
- (3) 予選のあるトラック種目は、予選ラウンドの上位8名で決勝を行う。決勝に進む人数を超えた場合は、写真判定主任が同記録者の1/1000秒の実時間を判定して決勝進出者を決定する。それでも決められない場合は、レーンに余裕があるときは、同記録者全員が次のラウンドに進めるようにする。それが不可能なときは、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。決勝のレーン抽選は、主催者が公平に行う。
- (4) 長距離種目について
 - 1500mは安全確保のため、2列でのスタートを採用する。各都県の第1・第2代表を1列目、第3代表を2列目とする。3000mは安全確保のため、グループスタートを採用する。また、危険防止のため、第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。また、給水所をバックストレートに設ける。
- (5) リレー競技について
 - ①リレーオーダー用紙は、TICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
 - ②リレーオーダー用紙を1部作成し、第1組の招集完了時刻の1時間前までにTICへ提出する。
 - ③リレーオーダー用紙の監督署名は、各学校・団体の監督のものとする。
 - ④リレー競技においては、同一系のユニフォームを着用する。
 - ⑤第2～4走者は、主催者が用意したマーカーを1か所使用することができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- (6) フィールド競技について
 - ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ②走幅跳、砲丸投、円盤投において、すべての競技者に3回の試技が与えられる。なお、上位8名はさらに3回の試技が与えられる。
 - ③走幅跳については、2つの並行するピットで2組に分けて決勝を行う。1組はAピット、2組はBピットで行う。3回の試技後、記録上位8名でさらに3回の試技を行う。なお、4回目以降の試技はそ

それぞれのピットで行なう。3回目終了後に足合わせの時間は設けない。

- ④走高跳（四種競技含む）については、2つの並行するピットで2組に分けて決勝を行う。1組はAピット、2組はBピットで行う。
- ⑤走高跳、棒高跳においては、連続する3回の無効試技で競技終了とする。
- ⑥フィールド競技者は、主催者が用意したマーカースを使用することができる（走高跳は曲走路内に限る）。渡されたマーカース以外の使用は認めない。
- ⑦試技時間は次の通りである。

【単独種目】

残っている競技者数	走高跳	棒高跳
13人以上*	40秒	40秒
4人以上	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分
1人	3分	5分
連続試技**	2分	3分

ラウンド	走幅跳・砲丸投・円盤投
予選ラウンド	40秒
決勝ラウンド	1分
連続試技	2分

【混成競技】

残っている競技者数	走高跳	砲丸投
13人以上*	40秒	40秒
4人以上	1分	—
2～3人	1分30秒	—
1人	2分	—
連続試技**	2分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の試技

** 単独種目・混成種目ともに、残っている競技者が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

- (7) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は以下の通りとする。ただし、悪天候などにより審判長の判断で高さを変更することもある。

決勝	練習時	最初の高さ	バーの上げ方
男子棒高跳	2m80・3m20 3m60・4m00	3m00	3m20—40—60—80 以降10cm毎
女子棒高跳	2m00・2m40 2m80・3m20	2m20	2m40—60—80 以降10cm毎
男子走高跳	1m61・1m81	1m66	1m71—76—81—86 以降3cm毎
女子走高跳	1m35・1m50	1m40	1m45—50—55—60 以降3cm毎

四種競技	練習時	最初の高さ	バーの上げ方
男子走高跳	1m40・1m60	1m45	1m48—51—54—57 以降3cm毎
女子走高跳	1m15・1m40	1m20	1m23—26—29—32 以降3cm毎

- ①走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、競技規則TR26.4の場合は除く。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
- ③棒高跳の支柱移動申請用紙は、招集時に棒高跳担当の競技役員に提出する。なお、用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
- (8) 四種競技について
 - ①砲丸投は、すべての競技者に3回の試技が与えられる。
 - ②走高跳は、連続する3回の無効試技で競技終了とする。
- (9) 助力について
 - ①競技者に対する助力については、競技規則TR6.4を適用する。
 - ②助言は、コーチングエリア内で行うことができる。
 - ③コーチングエリアには、監督ADを持った監督および競技役員以外の立ち入りを禁止とする。

7. 用器具について

- (1) 棒高跳用ポール以外の器具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは、個人所有のものを検査のうえ、使用することができる。ポールの検査については招集時に行う。
- (3) 棒高跳用ポールの保管については、雨天走路内倉庫にて保管することができる。T I C、もしくは棒高跳担当の競技役員に申し出ること。

8. 商標について

競技場内に商標名の付いた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。これに違反した場合は、主催者で処置する。

- (1) 競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット（トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット）、および競技会参加時に競技者が着用するあらゆるその他のキットやアパレルなど 上衣 下衣〔それぞれ〕
 - ・製造会社名／ロゴ：1つ（一箇所） 40cm²（高さ5cm、長さ10cmまで） ＊場所は問わない
 - ・所属団体名／ロゴ または 学校名／ロゴ：
 - 〔所属団体名／ロゴ〕
 - 上衣 前後 各一箇所 ＊長さは問わない（高さは前：5cmまで、後ろ：4cmまで）
 - 下衣 一箇所 ＊長さは問わない（高さは5cmまで）
 - 〔学校名／ロゴ〕
 - 上衣 前後 各一箇所 ＊大きさは問わない
 - 下衣 一箇所 ＊大きさは問わない
- (2) 競技者が着用するその他のキットや衣類（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、ウエストベルトなど）
 - ・製造会社名／ロゴ：1つ（一箇所） 10cm²（高さ4cm）まで
 - ・所属団体名／ロゴ または 学校名／ロゴ：1つ（一箇所）
 - ＊〔所属団体名／ロゴ〕10cm²まで 〔学校名／ロゴ〕大きさは問わない
- (3) タオル、衣類バッグ、シューズバッグなど
 - ・製造会社名／ロゴ：1つ（一箇所） 40cm²（高さ5cm、長さ10cmまで）
 - ・競技者名／競技者個人のハッシュタグ：1つ（一箇所） 40cm²（高さ5cm、長さ10cmまで）
 - ・所属団体名／ロゴ または 学校名／ロゴ：1つ（一箇所）
 - ＊〔所属団体名／ロゴ〕長さは問わない（高さは5cmまで）
 - 〔学校名／ロゴ〕大きさは問わない
- (4) 飲料ボトル
 - ・飲み物の提供者／製造者：2つ（二箇所） 40cm²（高さ5cmまで）
 - ・ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと
- (5) 都道府県名／ロゴ
 - ・所属する都道府県名／ロゴをベストまたはレオタードの前面および後面にそれぞれ1つずつ表示することができる。また、パンツまたはレオタード（下半身）にも1つ表示することができる。
- (6) 競技者は、招集を受ける前にできるだけテープなどで対応しておく。
- (7) 競技役員に指示された場合は、その指示に従うこと。

9. 表彰について

- (1) 各種目の入賞者は8位までとする。1位～3位までに賞状及びメダルを、4位～8位までに賞状を授与する。入賞者は係員の指示に従い表彰席に集合し待機する。表彰は、競技場入り口表彰特設ブースで行う。
- (2) 都県対抗は、各種目1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とし、その合計点で順位をつける。合計得点が同点の場合は、上位入賞者が多い都県を上位とする。
- (3) 男子優勝、女子優勝都県に河野謙三杯、男女総合優勝都県には臼木信雄杯を授与し、男女各3位男女総合3位までの都県には賞状を授与する。
- (4) 男女各リレー優勝チームに優勝杯を授与する。
- (5) 全競技者の中より、優秀選手として男女各1名を選考し、優秀選手賞を授与する。
- (6) 服装については、都県代表のTシャツ、及びジャージとする。

10. 結果発表と抗議について

- (1) 記録の掲示は行わない。アナウンスおよび大型映像装置で発表後Webに掲載する。なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、正式発表後（予選・決勝ともに15分以内、ただし、翌日に決勝が行われる予選については30分以内）に各都県監督がT I Cを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金二万円を添えて、T I Cもしくは担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

11. 応援について

- (1) 競技の妨げになるような応援は禁止する。競技役員の指示に必ず従うこと。
- (2) メインスタンドでの集団応援は禁止とする。
- (3) バックスタンドやサイドスタンドにおいても、トラック競技及びフィールド競技の進行の妨げにならないようにすること。
- (4) 跳躍競技の手拍子については、トップ8確定以降で他の競技の進行の妨げにならない場合のみとする。また、四種競技では原則行わないこととする。
- (5) 本競技場のメインスタンドは、テント等の設置を禁止する。なお、安全確保上の注意に従わない場合はイエローカードの対象とし、2回目はレッドカードとする。(本項以外でも安全確保に関しては同様とし、レッドカードは本大会より退場となる)

12. その他

- (1) 大会運営の必要に応じて、競技役員から指示が出た時は、その指示に従うこと。
- (2) 競技中に発生した事故については、応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。
- (3) 競技はすべて都県対抗であるため、競技用ユニフォームは、都県ごとに統一されたものを使用すること。なお、競技者の服装は、中学生らしく節度ある服装とすること。
- (4) 本競技場内のテントの設営、のぼり旗及び横断幕の設置については、すべて係員の指示に従い、細部については「会場関係注意事項」を参照のこと。
- (5) 物品の管理については、各自の責任において行い、紛失、盗難、事故などが起こらないように注意すること。
- (6) ゴミの処理については、原則各都県で持ち帰り、競技場内等に捨てないこと。
- (7) 本部、医務室等への出入りは、役員、監督、選手のみに限定する。
- (8) 本大会は都県対抗であるため、大会期間中(開会式から閉会式)は選手全員が参加すること。
- (9) A Dカードで規制しているエリアには、対象者以外は立ち入ることはできない。
- (10) 競技者の個人情報保護の観点から、写真・動画等の撮影については、「撮影に関するお願い」を参照のこと。
- (11) 各種提出書類などはすべてT I Cで配布し、提出先・受付は次の通りとする。T I Cは、競技場正面入り口前に設置する。

	提出書類	提出先・受付	提出時刻
①	欠場届	T I C	当該競技の招集開始時刻まで
②	多種目同時出場届	T I C	当該競技の招集開始時刻まで
③	リレーオーダー用紙	T I C	第1組の招集完了時刻1時間前まで
④	リレーオーダー変更用紙 (医務証明書)	T I C	招集完了時刻まで (医務員の判断による場合のみ)
⑤	棒高跳支柱移動申請用紙 (アップライト申告書)	現 地	棒高跳の競技役員に提出
⑥	抗議申し立て (口頭)	T I C (口頭で申し出る)	正式発表後、予選・決勝ともに15分以内 翌日に決勝が行われる予選は30分以内
⑦	上訴申立書	T I C (担当総務員) 【文書と委託金2万円】	審判長裁定後、予選・決勝ともに15分以内 翌日に決勝が行われる予選は30分以内
⑧	記録集申込書	T I C 【交付料1,000円】	競技開始時刻～閉会式終了 (後日大会本部より送付)
⑨	質問	T I C	